

春

夏

秋

冬

21

6月

# 「禁じられた祭り」で 和平祝う



「ヤイヤイヤイ…」

少数民族ヌバの女性の甲高い歌声に、混ざり合うように笛が鳴り響いた。汗を飛び散らせ、バケツや皿を太鼓代わりにリズムを刻む。全身にピンクや白の粉を塗りたくった男性がつえを振りかざし、大地を踏み続ける。

2005年6月、スーダン中部ヌバ山地の村トロジでこんな祭りが三日三晩繰り広げられた。周辺の村からも人が集い、延べ数千人が参加した。

名もなきこの祭りが行われたのは、実に約20年ぶりだった。中央政府（北部）とスーダン人民解放運動（SPLM、南部）が戦い、20余年で150万人超が命を落とした南北間紛争。ヌバの多くは南部側についたが、トロジなど政府側に服従を余儀なくされた一部の村では、ヌバの結束をそぐために、レスリングや身体装飾のほか、祭りまでもが禁じられていたのだ。

この内戦は05年1月の和平合意で二応の区切りを迎え、トロジなどの支配権は中央政府からSPLM側に順次戻った。SPLM幹部イゼキル氏は村民の前に「戦いは終わった。昼も夜も好きにだけ踊り、自分を解き放とう」と叫び、喝さいを浴びた。南北に分かれて戦った兄弟や親戚もこの日再会を果たし、抱き合い、踊り明かした。今もどこかの村々で、かつて禁じられた祭りが盛大に行われているかもしれない。